

NADOLIVE

ナドリーブ

診療科紹介：眼科・泌尿器科・放射線科／新入職員紹介(新入職医・研修医紹介)
サービス向上委員会／部署紹介／Live well, Live long／事務局より



- Contents
- 特集1 脳卒中センター×柏レイソル
 - 特集2 整形外科患者インタビュー



理念

私たちは全人的医療を目指します

いつでも患者さんの立場に立って医療を行います

先進技術を導入し、適切な医療を実施するように努力します

救急医療を中心に予防医学にも力を注ぎ、医療のあらゆる分野に全力を尽くします

〔基本方針〕

- 1 患者さんの権利を尊重し、患者さんの信頼と満足が得られるような医療を行うように努めます
- 2 救急医療、急性期医療を当院の使命と考え、救急患者さんは小児から高齢者まですべて受け入れます
- 3 予防医学から在宅医療、高齢者福祉・介護まで、地域に密着した包括的医療を目指します
- 4 地域医療機関や施設との機能分担や連携を図り、救急病院としての機能と責務を果たすよう努力します
- 5 高度な医療と安らげる環境を提供するために、職員の教育と研修に努めます

Access



■電車の場合

東武アーバンパークライン（野田線）新柏駅より徒歩約7分

■電車とバスの場合

JR柏駅東口5番バス乗り場 東武バス 新柏駅行に乗車し、新柏住宅でお降りください。新柏住宅の裏が名戸ヶ谷病院になります。

■無料巡回バスも運行しています

ルート内であれば、乗り降りは自由な場所で行っていただけます。詳しくは、ホームページをご覧ください。



科

泌尿器科
近藤 靖司



診療科紹介 泌尿器科

充実の診断・治療体制で
豊かなシニアライフ
維持をサポート

最も多く行っている手術は白内障になります。
通常の白内障手術はもちろん、難症例までどんな症例でも対応可能です。

進行してからの手術も可能ですが、手術時間が長くなる場合や、再手術(眼内レンズ強膜内固定術)が必要になる場合での、視力低下や霞の症状が出始めたら、早めに受診される事をお勧めします。術後の見え方に満足していただけるよう、眼内レンズ度数の工夫や、遠近両用の眼内レンズを導入しています。

硝子体手術も数多く行っています。黄斑前膜、黄斑円孔、硝子体出血、糖尿病網膜症、網膜剥離などを治療対象としています。

特に網膜剥離は緊急を要する疾患です。加齢に伴い多くの人は

3年が経過しました。
外来、手術件数とともに順調に増加してまいりました。
今年から常勤医3名、非常勤1名の勤務体制になり、外来手術と待ち時間の短縮に努めています。

眼科では大学病院と同等な難症例までどんな症例でも対応可能です。

眼科は高齢の方も多く、遠方への通院や長期入院は身体に負担

と思われます。

高度な治療を、より身近に受け

て頂くことで、地域の皆様に貢献

します。

眼科では大学病院と同等な難症例までどんな症例でも対応

可能です。

眼科は高齢の方も多く、遠方への通院や長期入院は身体に負担

と思われます。

高度な治療を、より身近に受け

て頂くことで、地域の皆様に貢献

します。

眼科は高齢の方も多く、遠方への通院や長期入院は身体に負担

と思われます。

高度な治療を、より身近に受け

脳卒中センター × 柏レイソル

脳卒中の予防と

早期発見に向けて

卷之三

名戸ヶ谷病院では、2021年10月に「脳卒中センター」を開設いたしました。今回、センター長である井上靖章先生と医師・井原聰先生、スポンサー契約を締結した「柏レインボーアソシエイツ」のキャプテン・大谷秀和選手の対談が実現。脳卒中に関する正しい知識、予防や早期発見に向けて何ができるのか、3人で語り合いました。



名戸ヶ谷病院脳神経外科部長・
脳卒中センターセンター長
井上 靖章
2013年京都大学医学部卒業。米国・
ハーバード大 *Brigham and Women's*
Hospital にてヨーリーとして勤務した後、
2021年8月に現職就任。

規則正しい生活習慣を継続することが大切

井上…大谷選手は心身の健康のために、日頃から心掛けていることはありますか？

けているのは、その生活習慣を継続することですね。食事は、妻が栄

井上：すばらしいですね。規則正しい生活を送ることは大切ですし、トップアスリートがこのような形で健康管理していることを、地域の皆さんにも知ってほしいですね。

井原：私たち「脳卒中センター」で勤務していますが、脳卒中について、どんなイメージを持つっていますか？

大谷：命に関わる病気ですから、やはり怖いですね。血管が詰まつて脳

に障害が起きるということは知っていますが、具体的にどんな病気ですか？

脳卒中のサインがあれば迷わず相談してください

ましたが、よく理解できました。では、実際に家族や身近な人がそうなった時、どうすればよいのでしょ

では、数時間様子を見る方もおられます
が、一刻一刻を争うケースも
ありますので、何かおかしいと思つたら迷わないでください。

井上：脳卒中の多くは動脈硬化が原因だと言われていますが、動脈硬化が起こりやすい要因として、は、喫煙習慣やメタボリックシンドローム、高血圧、糖尿病などが挙げられます。

まり、患者様のご家族が病院を選ぶことができないので。そこで、地域の皆さんに安心してもらえるよう、昨年開設したのが「脳卒中センター」です。万が一、ご家族に症状が表れても、脳卒中という病気の

井原：予防・早期発見という部分では、柏レイソルさんとコラボしてい
る「脳ドック」を受診していただきたいですね。

にもダメージが蓄積されますので、60代、70代あたりからリスクは高くなりますが、ただし、不健康な生活

大谷：自分で病院を選べない中で、環境が整っている病院に搬送して

をしていると、早くから血管のダメージが蓄積され、40代からリスクがあると言われています。

大谷：自分で病院を選べない中で、環境が整っている病院に搬送してもらえることを知っているだけで、も安心できますね。

井上：柏レイソルさんはクラブ創立30周年ですね。当院も、来年開設40周年となります。



関節治療センター

長年悩まされた膝の痛みが嘘のように解消



膝の痛みから解放し、生き生きとした毎日を取り戻していただきたい。そう願う当院では、変形性膝関節症の再生医療（PRP/AAPS）に注力するとともに、再生医療では対応できない患者様のために最新の人工関節手術支援ロボットシステムを導入。より精度の高い人工膝関節置換術を実現しています。20年前から膝の痛みに悩まされ続けてきた足立千秋さんも、そんな人工関節手術支援ロボットシステムによる治療を受けられた患者様の一人。手術までの道のりと現在の状態、さらにはこれから夢と目標を伺いました。

Q 膝の痛みはいつごろから自覚されましたか？

A 20年ほど前から右膝が痛み始め、とうやくなつたんです。若いころからテニス、ゴルフ、スキー、登山とさまざまなスポーツを嗜み、足腰には自信がありました。近所の整形外科を受診したところ「変形性膝関節症」と診断され、湿布薬や痛み止めの薬の処方、リハビリ、さらにはヒアルロン酸注射などを続けました。ところが一向によくならないばかりか、右膝をかばうせいで左膝にも痛みが出来て。そこで今度は別の整形外科を受診したところ、半月板損

Q 膝の痛みはいつごろから自覚されましたか？

A 20年ほど前から右膝が痛み始め、とうやくなつたんです。若いころからテニス、ゴルフ、スキー、登山とさまざまなスポーツを嗜み、足腰には自信がありました。近所の整形外科を受診したところ「変形性膝関節症」と診断され、湿布薬や痛み止めの薬の処方、リハビリ、さらにはヒアルロン酸注射などを続けました。ところが一向によくならないばかりか、右膝をかばうせいで左膝にも痛みが出来て。そこで今度は別の整形外科を受診したところ、半月板損



Q 手術への不安は、いかがでしたか？

A もちろんありましたよ。その不安を払拭してくれたのが、國府先生の「手術をすれば痛みもなくなり、またゴルフもテニスも楽しめますよ」という心強い言葉で手術に踏み切りました。手術には人工関節手術支援ロボットという最先端のシステムを活用していただきましたが、それにはまったく抵抗がありませんでしたね。どういうのも、私は学生時代からコンピューターや自動制御を専攻しておらず、産業用ロボットにも精通していたんです。かつて携わったロボットに助けてもらった——そんな気分でしたよ(笑)。術後の痛みもほとんどなく、術前・術後を通じて不安や不快に陥ることはまったくありませんでした。

Q 1週間ほど入院されましたか？

A 新しく清潔な病棟、最新の医療技術と最先端の医療設備、そして、頼もしいドクターと親切で優しい看護師さん、療法士さん、スタッフのみなさん——お世辞抜きに、素晴らしい病院と感じました。病室もまるでホテルのような快適さで、入院中の食事も期待以上の美味しさ。生まれて初めての入院生活でしたが、まったく苦になりませんでした。今まで病院・病室というと暗くて居心地の悪いイメージがありましたが、すっかり払拭されましたね。

Q 最後に、足立様の今後の夢と目標をお聞かせください。

A 手術から2カ月半（取材時）が経ち、膝の痛みがなかったことに同じ気持ちで毎日を過ごすことができています。目下の目標は、ゴルフを再開することでしょう。そして来年には、大好きなスキーにもチャレンジしたいですね。かつて妻とスイスのアルプスまで滑りに行つたことがあるのですが、できればもう一度、あの雄大な自然に包まれながらスキーを満喫できたらなと。動くこと、歩くことさえできれば、人生はまだまだ楽しめるはず。それを信じて、これからも前向きに生きていくたいですね。



整形外科専門医・手外科専門医
副院長 國府 幸洋

Q 手術をお受けになり、生活はどうになりましたか？

A 手術前の数ヶ月は膝を中心に腿から足首まで強烈な痛みがあり、椅子から立ち上がるのもトイレに行くのも大変な状態でした。そのような状態ですか、外出もままなりませんでした。

Q 今回の経験を踏まえ、膝の痛みに悩む方へメッセージをお願いします。

A 先生のお話によると、膝の痛みに悩む方は全国で約1000万人もいるにもかかわらず、整形外科での人工関節・治療を受ける方は1%ほどしかいないとのこと。これは、豊かな人生を

國府医師の診察は
毎週月曜(午前)、火曜(午後)、金曜(午前)
土曜(第1、第3のみ)

【外来受付時間】午前7:00~11:30 午後11:30~16:30
【早朝受付専用】04-7167-8511

PRP 外来予約・相談センター
04-7199-3787

【代表(予約)】04-7167-8336
【平日】午後14:00~17:00、土曜~12:30 担当(千田まで)

新入職員紹介

新入局医師のご紹介

4月より加わった仲間をご紹介します。
職員一同よろしくお願ひいたします。

- ①診療科
- ②氏名
- ③学歴
- ④専門・認定等
- ⑤座右の銘・好きな言葉
- ⑥患者様へのメッセージ



- ①外科
- ②岸上 史士(きしがみ ふみし)
- ③群馬大学(2012年)
東京大学大学院(2022年)
- ④外科専門医・がん治療認定医・検診マンモグラフィー読影認定・看護師・保健師・2種教員免許
- ⑤温かい心・広い視野・行動力
- ⑥地域の皆様の健康のため日夜努力いたします。皆様と共に歩んでゆければと思います。よろしくお願ひいたします。



- ①形成外科
- ②今村 嶺太(いまむら りょうた)
- ③新潟大学(2015年)
- ④日本形成外科学会・日本マイクロサージャリー学会・日本手外科学会・日本創傷外科学会・日本美容外科学会
- ⑤歳寒松拍
- ⑥形成外科全般の手術治療を行います。患者様の希望に応じて適切な医療を提供できるよう努めています。



- ①眼科
- ②申 丹妮(シェン ダンニー)
- ③大阪大学(2018年)
- ④東大病院より異動しました。皆様のお役に立てるよう努めますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



- ①眼科
- ②播谷 美紀(はりや みき)
- ③滋賀医科大学(2018年)
- ④一期一会
- ⑤眼科は検査や治療の種類が多く、不安に思われることが多いかと思いますが、眼に関してお悩みのことがあれ何でもお気軽に相談ください。地域の皆さんにご満足頂けるよう努めまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



診療科紹介

放射線

こんな症状ありませんか？

（狭心症を見つけるために）

研修医のご紹介

8名の研修医が病態や診断、治療に関する基礎的な初期診療能力を習得することを目的に2年間当院で学びを深めます。患者さま一人一人と真摯に向き合う誠実な意思を目指してまいります。



自己紹介（写真左より）

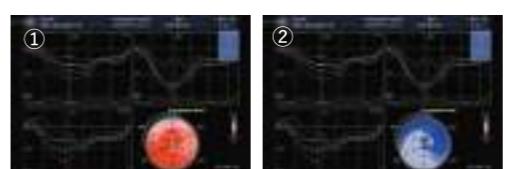
氏名	出身大学	趣味	一言
宮崎 真明	山梨大学	ドライブ	笑顔と挨拶には自信あります。よろしくお願ひします。
樋口 海成	札幌医科大学	チエロ	皆さんに最高の医療が提供できるよう日々進化して参ります。
出田 拓	日本医科大学	野球観戦	患者さんに寄り添った診療を心がけます。
加藤 広空	名古屋市立大学	フットサル・筋トレ	仕事もプライベートも全力で。
田畠 心	九州大学	十分な睡眠をとること	ビッグな医師になれるよう精進してまいります！
豊川 裕太	山梨大学	球技	名戸ヶ谷の本気お見せします。
中条 皓介	九州大学	ドライブ	初心を忘れず、頑張ります。
丸杉 貴世馬	鹿児島大学	筋トレ	患者様に寄り添える医療を実践すべく、研修医として日々精進します。

その他の部門でも
新しい仲間が加わりました。
活気あふれる病院を目指します！



朝方胸に違和感がある、あるいは階段を登ると胸が苦しいなどといつた事はありませんか？もしかしたら狭心症かもしれません。しかし狭心症の診断は難しいのが現状です。

なぜでしょうか？病院に来た時に症状が消えている事が多く、「心電図などの検査を行っても異常が見つからない事が多いからです。ではどうしたら良いでしょう？最近の研究では、「狭心症を起こし症状が消えた後でも、心筋に異常が残る事が分かつており、この『痕跡』を見つけてあげる事が重要になります。この『痕跡』は、従来の検査法では中々見つけられませんでした。当院では超音波



<当院症例>

70代男性、朝方布団に入っていたところ胸痛を自覚し、当院に来院された患者様です。症状から狭心症を疑い検査を行いましたが、心電図や採血などに異常を指摘できませんでした。心臓超音波検査でスペックルトラッキング法を使用し、虚血評価を行いました。

左の画像は上述の①に該当し、心筋のどの位置の壁運動が低下しているか(矢印)を表しています。一方右の画像は②に該当し、どの領域が正常な領域よりも遅れて収縮してきているか(矢印)を表しています。この患者様はこの後心臓カテーテル検査を行ったところ、指摘箇所の動脈の高度狭窄が見つかり、ステント留置を行いました。

検査でスペックルトラッキング法という心筋虚血診断法を採用しており、この「痕跡」を発見する手段になり、名戸ヶ谷病院では狭心症が疑われる場合は、全例このスペックルトラッキング法を施行しております。症状がある方はご相談下さい。また検査についてのご質問は遠慮なく放射線科へお声おかけください。

Live well,
Live long

この「Live well, Live long(健康で長生き)」では、毎回専門職の方から健康で長生きするためのコツと知恵をレクチャーしてもらいます。今回は栄養科です。

夏バテ予防に… 夏の風物詩



暑い暑い夏の時期がやってきました。
夏バテ予防の食材といえば「鰻」
今回は鰻の紹介です。

現在流通している98%は稚魚(しらすうなぎ)を採取して育てた養殖品で、主に台湾や中国、国内では鹿児島、熊本、静岡など育て出荷します。

夏バテ防止と
いわれる所以は

- エネルギー代謝に関するビタミンB群は豊富
- 紫外線対策のビタミンE 皮膚や粘膜の健康を保つビタミンAも多い
- 少量でも栄養価の高い不飽和脂肪酸も豊富

料理としては

- 「白焼き」「蒲焼き」「鰻重」「う巻き」「鰻ざく」「くん製」
- 海外では「ワイン煮」「ゼリー寄せ」「スープ」として食します。
- ただし、血液にはイクシオトキシンという毒素がありすっぽんの生血のようには飲めません。



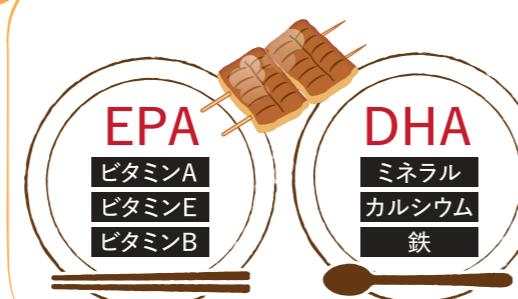
夏に鰻を食べる風習は、江戸時代に平賀源内さんが「土用の丑の日」*に「う」の字がつく食べ物を食べると夏負けしないという広告として考案したのが始まりとされています。

鰻屋では「けむりを食べさせる」

あの店前でうちわをあおりながらじっくり焼く技術を横目に、美味しい「けむり」と「鰻重」。

現在のコロナ状況下ではなかなか外出外食が遠のいていますが今年の丑の日は7月28日、しっかり夏バテ予防しましょう。

*土用の丑 土用・立春、立夏、立秋、立冬前の18日間



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地域の皆さんに名戸ヶ谷病院・名戸ヶ谷びこ病院、回生の里、名戸ヶ谷診療所が身近にあって良かったと思ってもらえるようスタッフ一同絶え間ない努力を続ける所存ですので、万が一の時には「まずは名戸ヶ谷病院へ」とお考えいただきまますようお願い申し上げます。

法人本部

社会の公器である当法人の一番の責務は、充実した医療・福祉サービスを保証し続けることで、地域の皆さんが親・兄弟・子供・孫へ安心した生活を送れるようサポートすることです。

当法人もSDGsの理念に賛同し、積極的に取り組んでまいりました。社会の公器である当法人の一番の責務は、充実した医療・福祉サービスを保証し続けることで、地域の皆さんが親・兄弟・子供・孫へ安心した生活を送れるようサポートすることです。地域の皆さんに名戸ヶ谷病院・名戸ヶ谷びこ病院、回生の里、名戸ヶ谷診療所が身近にあって良かったと思ってもらえるようスタッフ一同絶え間ない努力を続ける所存ですので、万が一の時には「まずは名戸ヶ谷病院へ」とお考えいただきまますようお願い申し上げます。

生き生き輝く★委員会活動

サービス向上委員会

当委員会は、「病院職員の質向上と患者サービス」を基本方針としています。通院および入院される患者様に対するサービスの充実と改善、QOL(Quality of life)を実現することを目的としています。病院が提供する医療サービスに対して、患者様が満足と安心を得られるような医療・看護、職員の接遇、施設機能の整備を行う委員会です。活動内容の一部をご紹介します。



総務課

総務課では現在24名の職員が在籍しています。診療部・看護部・ツール・各コメディカル部門など院内の全ての部署とかかわりを持ち、その業務内容は多岐にわたります。例えば、診療業務に直結する物品(医療機器、診療材料等)の購入や管理、各部署での備品や消耗品など、購入希望がある商品の仕入れ対応を行っています。より使いやすくより安いコスト面・環境面にも配慮した商品を選定するため各部門と連携をとり、業者との仕入れ交渉を行っています。さらに医療の現場ではそれらをよりスピーディーにこなすことが求められます。

また各種行政の届け出や、設備管理業務等の公的機関とのやり取りなど、病院運営や経営に関わる業務も担っています。患者さまが病院にお電話されたときまず第一声で関わる電話交換業務も総務課の女性職員です。ドクターカーでの患者さまの移送やその他の運転業務も行います。患者さまと直接関わることはあまり多くありませんが、みなさまが安心安全な療養生活が送れますよう院内の環境整備を行い、満足して頂ける医療を提供できるよう日々病院を支えています。

紹介 部署



総務課 村崎龍馬さん